

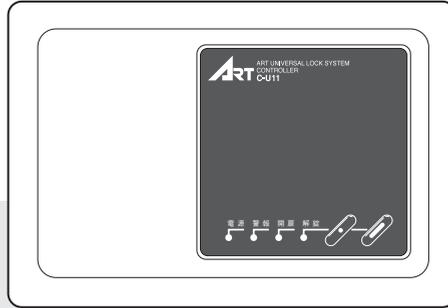
ART

コントローラ

型式

C-U11

設置/取扱説明書



この度は、当社のコントローラをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、必ず保管してください。わからないことがあったときなど、お役に立つことがあります。

●工事担当者の方へ

作業の前に予め、下記の機器、部品をお確かめください。

本体 C-U11 1台
取り付けネジ M4×20 3本

本製品は、下記の手順にしたがって、設置・接続してください。

本書6ページ「設置」
↓
本書7ページ「接続」
↓
本書22ページ「設定」
↓
本書36ページ「動作確認」
↓
作業終了

本書は、工事終了後に必ずお客様にお渡しください。

●お使いになる方へ

ご使用前に必ず、本書22ページ「設定」をご覧ください。ご覧になって暗証番号やカードの登録方法についてご確認ください。

機器の調子が悪いときは

修理を依頼される前に、本書37ページ「トラブル発生時のチェックポイント」をご覧ください。それでも改善されないときは、裏表紙に記載されている最寄りの各地営業所、出張所へお問い合わせください。

目次

安全にお使いいただくために.....	1
はじめに	2
1 各部の名称とはたらき	4
2 設置	6
3 接続	
端子説明	7
C-P11の接続	10
C-U11TMの接続	10
C-U11RYの接続	11
C-U11DLの接続	11
メーカー別接続図 — 美和ロック製電気錠	12
メーカー別接続図 — ゴール製電気錠	13
メーカー別接続図 — 堀商店製電気錠	15
自動扉	17
操作表示器接続図	18
端末機器接続図	20
4 設定	
コントローラのディップスイッチ設定	22
端末機器登録	24
タイマー設定	30
5 操作	33
6 動作確認	36
7 トラブル発生時のチェックポイント	37
8 仕様	38

安全にお使いいただくために

■工事担当者の方へ（設置時のご注意）

⚠ 注意

1. 次のような場所に設置しますと、故障や破損の原因となりますので避けてください。
 - ・ 直射日光のあたる場所、冷暖房機の近くや屋外。
 - ・ 湿気が多い場所や水・薬品等がかかるおそれのある場所。
 - ・ ごみやほこりの多い場所、有害ガスの発生する場所。
2. 装置の破損や動作異常を避けるために、ケーブルの接続、ディップスイッチの設定、端末機器の登録は、取扱説明書に従って正しく行ってください。
3. 装置を分解・改造しないでください。
4. 落としてたり、強い衝撃を与えないでください。

■お客様へ（使用上のご注意）

⚠ 注意

装置を分解したり、改造したりしないでください。

★停電のときは

電気錠の動作は停電と同時に停止しますので、施解錠はキーで行ってください。

- * オプションのバッテリーを接続すると、約30分間通常どおりお使いいただけます。また、停電時、電気錠の解錠も可能です。

★動作不良、異常動作が起きたら

本装置は精密電子機器のため、外部からのノイズや雷によって、停止したり、異常な動作・表示をすることがあります。異常な動作のまま放置しておくと、発熱したり、装置の破損につながることもありますので、まず電源スイッチを一度切ってから、約5秒後に再び入れてください。

ほとんどの場合はこれで動作が回復しますが、この処置でまだ異常のあるときは、電源スイッチを切って、当社または代行店にご連絡ください。

■部品の点検・交換のお願い

スイッチング電源ユニットには、一般的に経時劣化があります。5年を目安に、正規の電圧を出力しているか、内部のコンデンサーが変形していないかなど、代行店または当社に点検を依頼してください。

消耗により交換が必要な部品

交換の際は、当社または代行店にご連絡ください。

- バッテリー（オプション C-P11）
3年（使用条件による）

はじめに

C-U11は、マンションや住宅などの出入口の扉に取り付けられた電気錠の施錠・解錠を操作する一回線専用のコントローラです。各社の電気錠にほぼ対応し、別売りの操作表示器、テンキー、各種カードリーダーと組み合わせてお使いいただけます。

●主な特長

- コントローラを取り付けた場所から、出入口の(電気錠の)施錠/解錠が可能です。
- 扉の状態(開閉)、電気錠の状態(施錠、解錠)がランプで確認できます。
- ワンタッチで電気錠を連続解錠(扉を閉めても施錠しない)できるため、荷物の出し入れ時などに長時間の扉の開放が可能です。
- 通常は電気錠で施錠されていますが、端末等を接続することにより、登録したカード、暗証番号で電気錠の解錠が可能です。

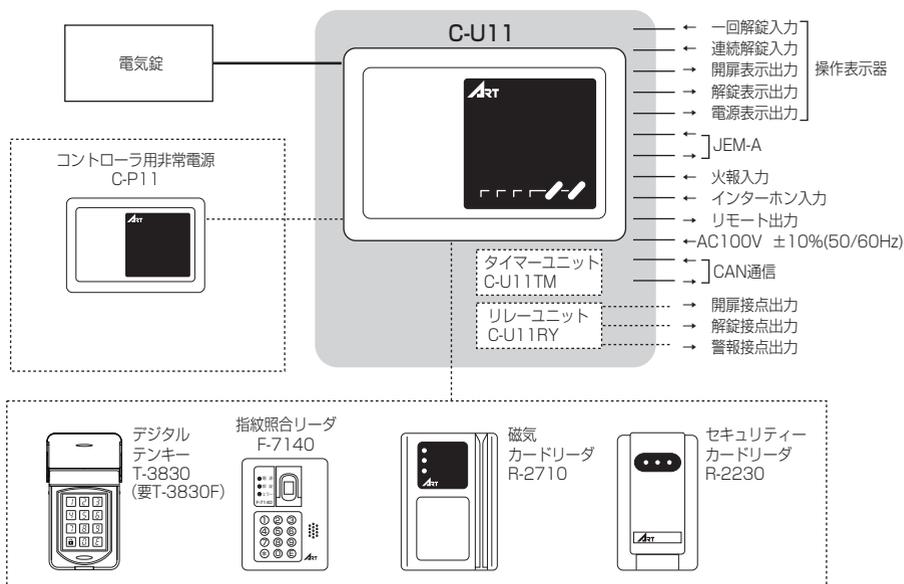
オプション機能

- 電気錠の施錠・解錠時間を自由に設定できます(C-U11TM接続時)。
- 外部の警報装置などに扉、電気錠の状態を知らせることができます(C-U11RY接続時)。
- 停電時でも、電気錠の解錠ができます(C-P11接続時)。

※タイマーユニット/デジタルRFユニット/ダブルロックユニットのいずれか1つが内蔵できます。

●システム構成

C-U11は、さまざまな機器と組み合わせることによって用途に応じたシステムを構築することが可能です。



オプション機器

<タイマーユニット>	C-U11TM
<リレーユニット>	C-U11RY
<ダブルロックユニット>	C-U11DL
<非常電源>	C-P11
<インターフェースユニット>	T-3830IF*

*C-U11に内蔵するためには取り付け金具が必要です。

端末

名称	型式	メモリー
デジタルテンキー	T-3830	暗証番号1種類のみ
指紋照合リーダー	F-7140	1,000指
磁気カードリーダー	R-2710	10種類まで登録可
セキュリティーカードリーダー	R-2230	登録枚数20枚
操作表示器	B-9615F	—

対応電気錠

電気錠タイプ	各社電気錠形式			動作モード		
	美和ロック(株)	(株)ゴール	堀商店	A	B	E
通電時解錠型電気錠	ALT/ALTA/AMT/ AMTA/AUT/AUTA/ ALX*	EST/ESTP/ESM/ ELTP/ESB/ELT/ELB/ ELM/EXM/CMT	6110/6120 6210/6220	○	○	×
通電時解錠型 電気ストライク	AST/ASZ	ACS-14シリーズ	#3103	○	○	×
通電時施錠型電気錠	ALR/ALRA/AMR/ AMRA/AUR/AURA*	ESR/ELR	6112/6122 6212/6222	○	○	×
通電時施錠型 電気ストライク	ASR	ACS-13シリーズ	#3123	○	○	×
瞬時通電施錠型 電気錠(有極)	ALA/ARA/ALG/ ALQ/AUS/ANS	EXS/EZS/ESS/ELS	6111/6121 6211/6221	○	○	○
瞬時通電施錠型 電気錠(無極)	ALS/AMS	—	—	○	○	○
モーター式施錠型 本締電気錠	ALM/AL3M/AFF	EM/AHEM/SXE/PX	—	○	○	○
自動扉	リモート端子から信号が出力されます。			○	×	×

*AUT/AUTA/AUR/AURAは同一電気錠のため、錠種の設定をする場合には電気錠側の設定を参照し、設定を行ってください。

*動作モード A:自動施錠モード B:施錠錠繰り返しモード E:手動/自動施錠モード

使用電線

電気錠や操作表示器との接続には、CPEV(市内対ポリエチレン絶縁ビニールシースケープル)を使用してください。

機器間の配線距離	導体径(mm)
100m以内	0.65
150m以内*	0.9

*ALS 100m以内

リモート出力

警備システムと連動する場合等に使用します。電気錠が解錠すると無電圧接点がメーク出力(ON)します。電気錠が施錠して約2秒後に無電圧接点がブレーク出力(OFF)します。

火報入力

火報盤等からの入力でのメーク入力(ON)時、電気錠を連続解錠状態にします。

インターホン入力

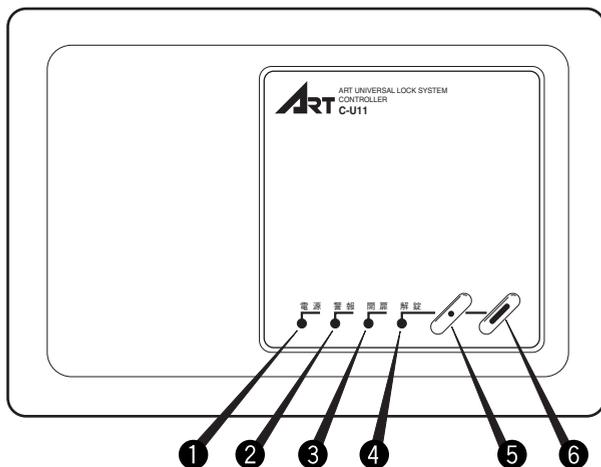
インターホン親機等からの解錠ボタン入力での電気錠を一回解錠状態にします。

JEM-A

JEMA(日本電機工業会)標準HA端子-Aに準拠したHAインターフェースです。

1 各部の名称とはたらき

●外観図



① 電源ランプ

電源供給時に点灯します。

緑: AC使用時

赤: バッテリー使用時

② 警報ランプ(赤)

電気錠または扉に異常が発生したときに点灯します。

③ 開扉ランプ(赤)

扉が開いているときに点灯します。

④ 解錠ランプ(緑)

電気錠が一回解錠状態のとき点滅し、連続解錠時は点灯します。

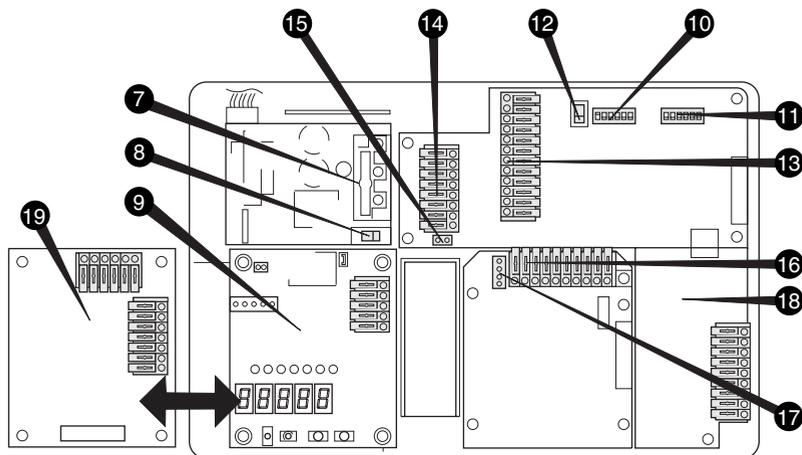
⑤ 一回解錠ボタン

ボタンを押すと、電気錠を解錠します。Bモード時に押すと、解錠／施錠をくり返します。

⑥ 連続解錠ボタン

ボタンを押すと、電気錠を連続解錠状態にします。Bモード時は、無効です。

●内部盤面図



⑦ AC電源入力端子

AC電源コードを接続します。

⑧ 電源スイッチ

ONにすると電源が供給されます。

⑨ タイマーユニット C-U11TM(オプション)

設定した曜日、時刻に電気錠の施錠をおこないます。

⑩ ディップスイッチ DSW1

ディップ有効、錠種設定、錠開扉入力の設定を行います。

⑪ ディップスイッチ DSW2

動作モード、解錠時間、警報ブザー、停電時解錠の設定を行います。

⑫ 運用登録スイッチ

各種端末の登録設定を行うときに使用します。

⑬ 操作表示器入出力端子

表示器を接続するときに使用します。

⑭ リーダ/テンキー接続端子

各種リーダー/テンキーと接続するときに使用します。

⑮ タイマーユニット(オプション)用コネクタ

タイマー基板に5Vを供給します。

⑯ 電気錠、CAN、非常用24V接続端子

電気錠、CAN通信、C-P11を接続するときに使用します。

⑰ JEM-Aコネクタ

JEM-A機器を接続します。

⑱ リレーユニット C-U11RY(オプション)

解錠、開扉、警報の3種類の信号を出力します。

⑲ ダブルロックユニット C-U11DL(オプション)

2台の電気錠AL3Mを接続します。

2 設置

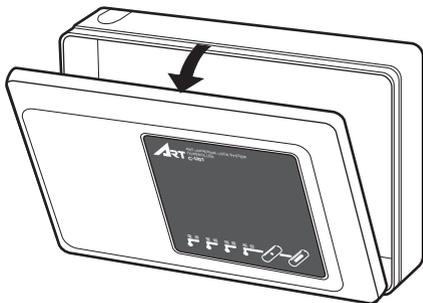
●壁面直付けの場合

●手順

①

カバーを外します。

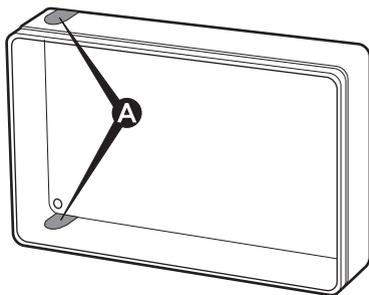
このとき、カバーと本体はケーブルで接続されていますので、ゆっくりとカバーをはずしてください。



②

各種接続機器、外部機器と接続します(7ページ参照)。

このとき、必要に応じてコード配線 **A** をカットします。

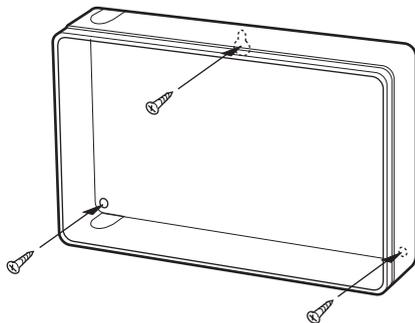


③

取付ネジ M4×20で本体を取り付けます。

設定(22ページ参照)が終了してからカバーを取り付けます。

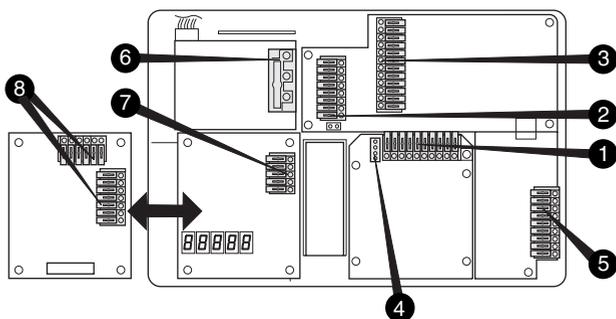
このとき、コードがカバーにはさまれていないことを必ず確認してください。



3 接続

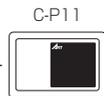
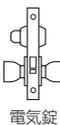
電気錠のメーカーごとに接続方法が異なりますので、ご確認の上、接続を行ってください。

● 端子説明



① 電気錠、CAN、非常用24V接続端子 (TM1)

青	SOL1	連続通電型 DC24V 0.3A
茶	SOL2	瞬時通電型 DC24V 1.0A
橙	COM	接点容量 DC24V 10mA以上
白	閉扉	
黄	解錠	
赤	施錠	
灰	CANL	CAN通信*
桃	CANH	
黒	GND	C-P11 接続用 24.0V 600mA
赤	DC24V	

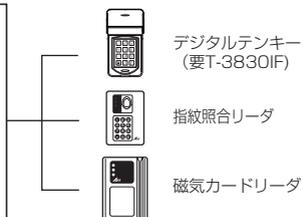


*弊社のCAN通信機能を持つ製品 (NW-BAN10他) との接続が可能です。

●端子説明

② リーダ接続端子 (J3)

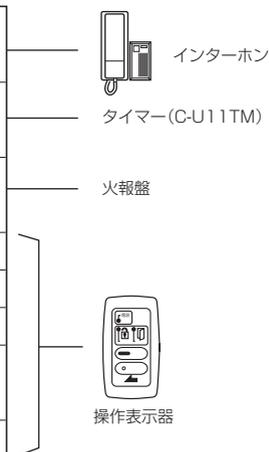
8	赤	24V出力	P 20 端末機器接続図を参照
7	黒	GND	
6	白	パルス入力	
5	黄	解錠表示出力	
4	橙	5V出力	
3	緑	運用・登録	



2	茶	リモート出力	無電圧a接点 連続 接点容量 DC24V 5mA~20mA
1	茶		

③ 操作表示器・入出力端子 (J1)

1	白	インターホン 入力	無電圧a接点 200msec以上 接点容量 DC24V 5mA~20mA
2	白		
3	青	タイマー入力	無電圧a接点 連続 接点容量 DC24V 5mA~20mA
4	青		
5	橙	火報入力	無電圧a接点 連続 接点容量 DC24V 5mA~20mA
6	橙		
7	桃	電源表示	DC24V 20mA以下
8	白	開扉表示	DC24V 20mA以下
9	黄	解錠表示	DC24V 20mA以下
10	青	連続解錠入力	無電圧a接点 200mA以上
11	白	一回解錠入力	接点容量 DC24V 10mA以上
12	赤	24V出力	DC24V



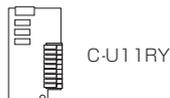
④ JEM-Aコネクタ (CN2)

1	制御入力	DC24V 20mA
2		無電圧a接点 ワンショット
3	モニター出力	DC24V 20mA
4		オープンコレクタ



⑤ 解錠、開扉、警報接点出力端子(オプション C-U11RY)

1	解錠出力b接点	無電圧c接点 連続 接点容量 DC24V 0.3A以下
2	解錠出力a接点	
3	解錠出力COM	
4	開扉出力b接点	無電圧c接点 連続 接点容量 DC24V 0.3A以下
5	開扉出力a接点	
6	開扉出力COM	
7	警報出力b接点	無電圧c接点 連続 接点容量 DC24V 0.3A以下
8	警報出力a接点	
9	警報出力COM	



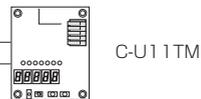
⑥ 電源入力端子

1	FG	
2	AC100V	AC100V
3		50/60Hz 15VA

⑦ タイマーユニット入出力端子(オプション C-U11TM)

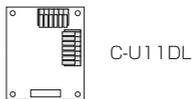
青	タイマー出力	無電圧a接点 連続 接点容量 DC24V 0.3A以上
青		
赤	24V入力	DC24V 50mA (未使用)
黒	GND	
緑	FG	

1	5V入力	5V入力コネクタ (CN1)
2	GND	DC5V 150mA



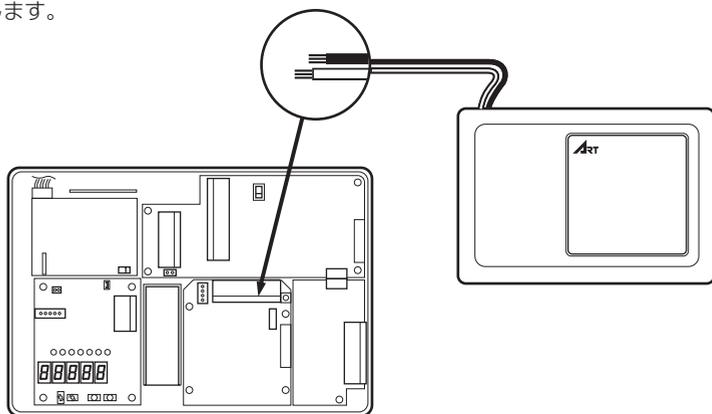
⑧ ダブルロックユニット入出力(オプション C-U11DL)

青	SOL1	連続通電型 DC24V 0.3A
茶	SOL2	瞬時通電型 DC24V 1.0A
橙	COM	接点容量 DC24V 10mA以上
白	閉扉	
黄	解錠	
赤	施錠	



C-P11の接続

C-P11の電気錠ユニット用端子からC-U11の、
電気錠、CAN、非常用24V接続端子の〔黒〕、
〔赤〕端子に接続します。



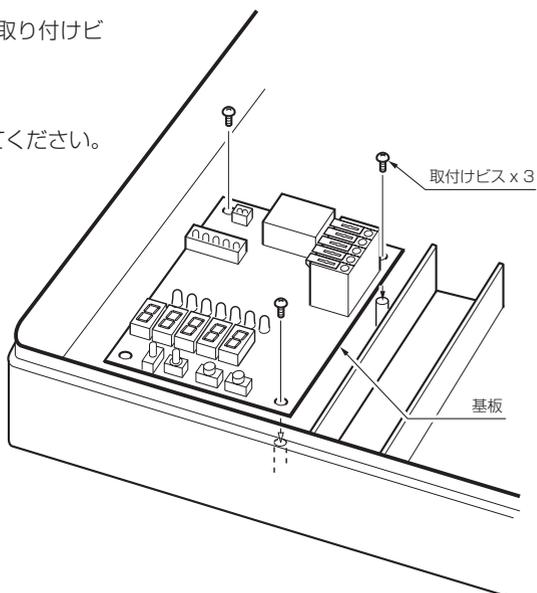
C-U11TMの取付

手順

タイマーユニット基板 (C-U11TM) を取り付けビス3本で固定します。

注意

取り付けは、電源を切ってから行ってください。



C-U11RYの取付

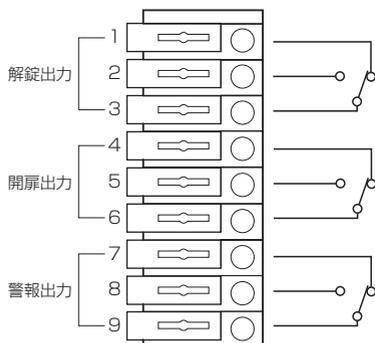
手順

- 1 リレーユニット基板のコネクタを相手側のコネクタに軽く当てます。
- 2 リレーユニット基板を下に下げながら、コネクタを接続します

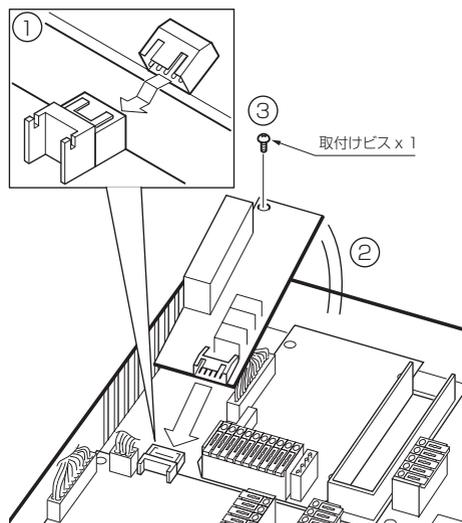
注意

取り付けは、電源を切ってから行ってください。

端子説明



*閉扉、施錠、警報OFFの状態です。



C-U11DLの取付

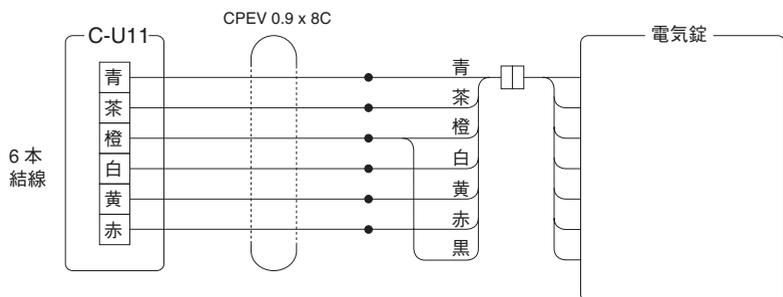
C-U11DL(ダブルロックユニット)の接続は、取り付けビスの位置などが同じなので、「C-U11TMの取付」(10ページ)を参照してください。

C-U11DLへ接続できるのはモーター式施錠型AL3Mのみです。

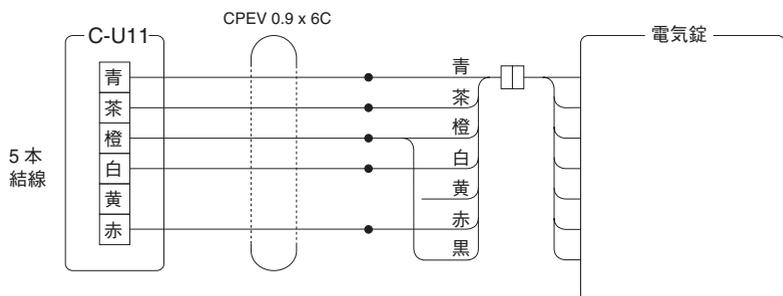
接続については、C-U11DLの取扱説明書をご参照ください。

●メーカー別接続図 — 美和ロック製電気錠

① 6本結線（モーター錠ALM、AL3M、AFF）

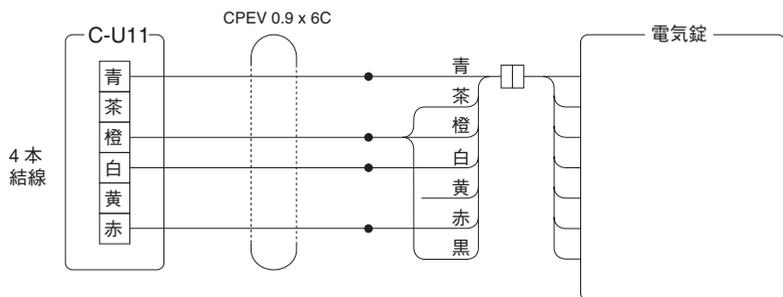


② 5本結線（モーター錠以外）



※以下の電気錠は4本結線も可能

（通電時施・解錠型電気錠/ストライクALT、ALTA、AMT、AMTA、AUT、AUTA、AST、ASZ、ALR、ALRA、AMR、AMRA、AUR、AURA、ASR）

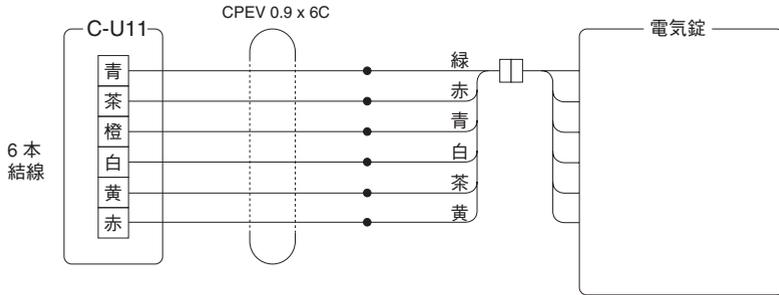


1. ● はハンダ付けをして絶縁処理をおこなってください。

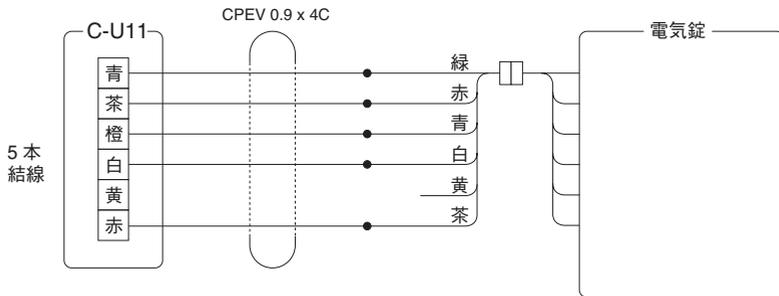
2. 使用しない線は、絶縁処理をおこなってください。

●メーカー別接続図 — ゴール製電気錠

① 6本結線(モーター錠EM、AHEM、SXE、PX)



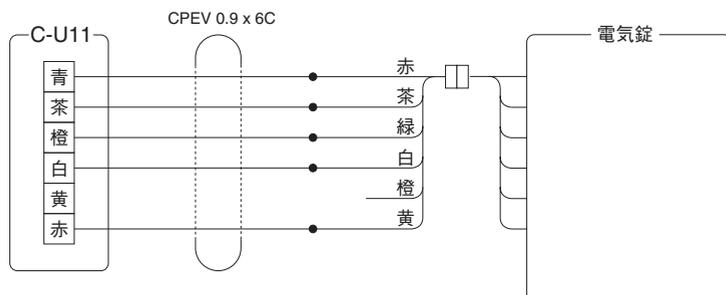
② 5本結線(EST、ELTP、ESB、ELT、ELB、ESM、ELM、EXM、CMT、ESTP、ESR、ELR、ESRP、ELRP、CMR)



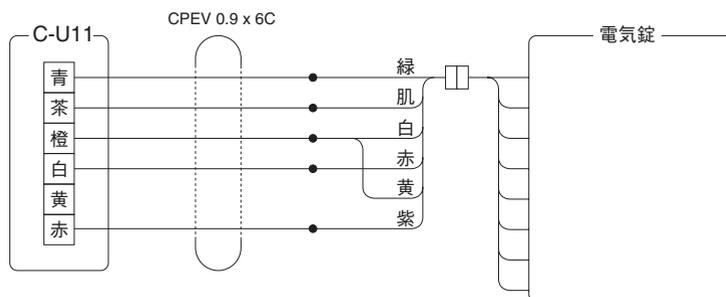
- はハンダ付けをして絶縁処理をおこなってください。
- 使用しない線は、絶縁処理をおこなってください。

●メーカー別接続図 — ゴール製電気錠

③ 瞬時通電施解錠型電気錠 (EXS、EZS、ESS、ELS)



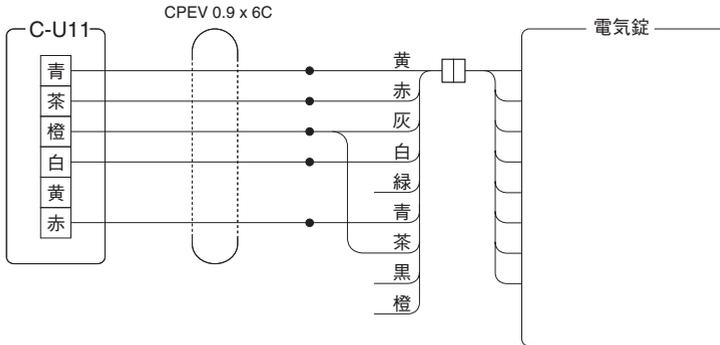
④ 通電時施解錠型電気ストライク (ACS-13、ACS-14)



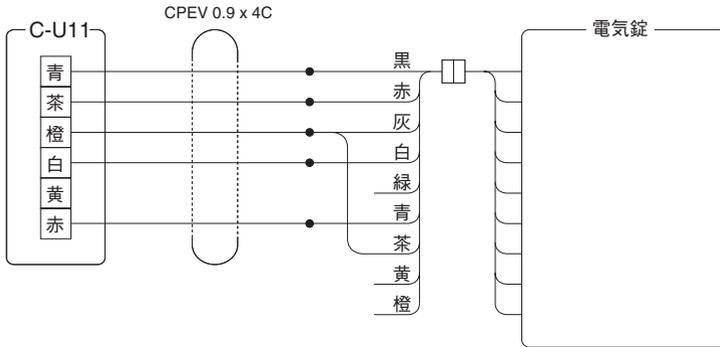
1. ● はハンダ付けをして絶縁処理をおこなってください。
2. 使用しない線は、絶縁処理をおこなってください。

●メーカー別接続図 — 堀商店製電気錠

① 瞬時通電施錠型電気錠 (6211、6221、6111、6121)



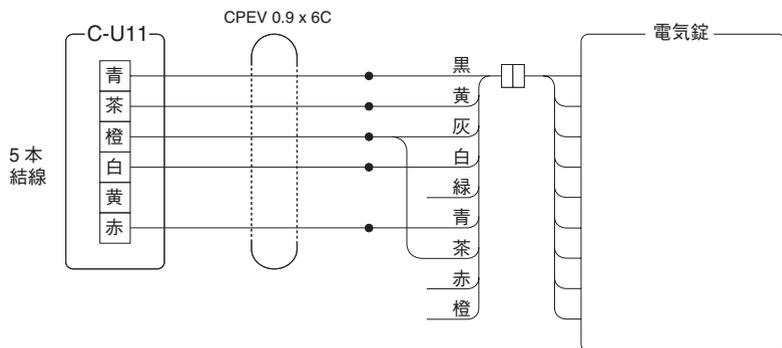
② 通電時解錠型電気錠／ストライク (6210、6220、6110、6120、3103)



- はハンダ付けをして絶縁処理をおこなってください。
- 使用しない線は、絶縁処理をおこなってください。

●メーカー別接続図 — 堀商店製電気錠

③ 通電時施錠型電気錠／ストライク(6212、6222、6112、6122、3123)



1. ● はハンダ付けをして絶縁処理をおこなってください。
2. 使用しない線は、絶縁処理をおこなってください。

●自動扉

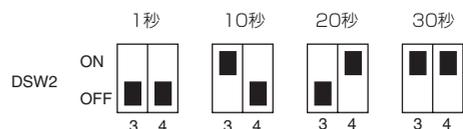
自動扉用接点出力

・自動扉は、J3のリモート端子から信号が出力されます。

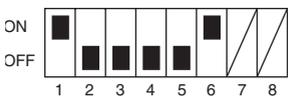
J3

1	}	リモート出力	無電圧a接点 連続 接点容量DC24V 30mA以下	—— 自動扉
2		リモート出力		

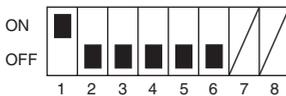
※接点出力時間についてはDSW2-3,4により、
1秒・10秒・20秒・30秒の設定ができます。



閉扉信号がない場合

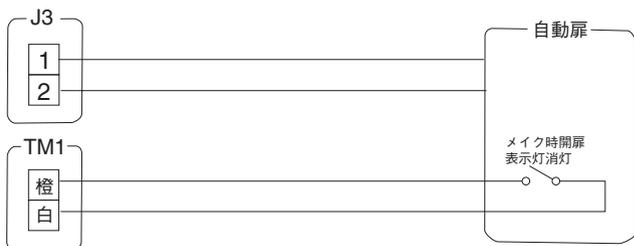


閉扉信号有の場合



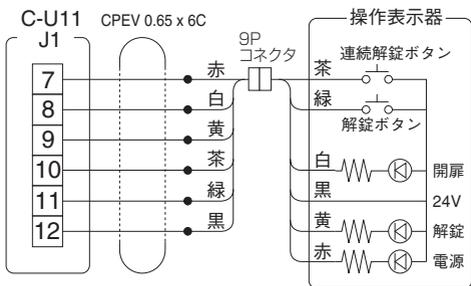
※接点出力時間は扉の開閉には関係ありません。

結線図

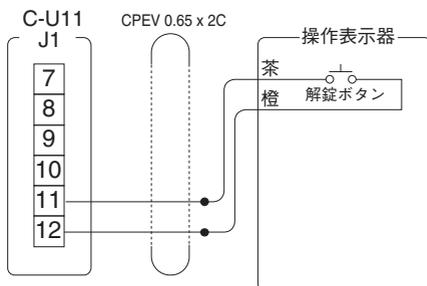


● 操作表示器接続図

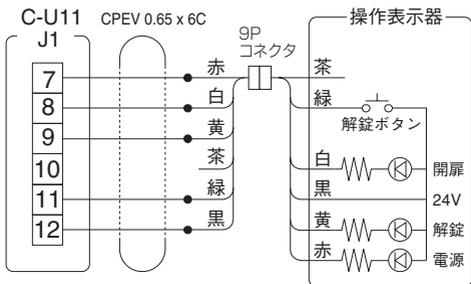
① B-9615F(自動施錠モード)



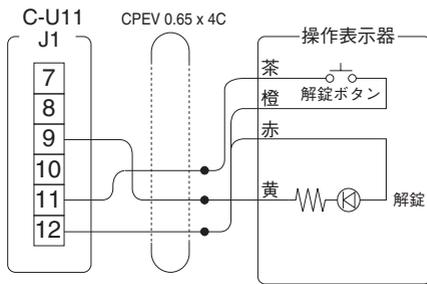
③ 面付型B-9510F/卓上型B-9510S



② B-9615F(施錠繰り返しモード)

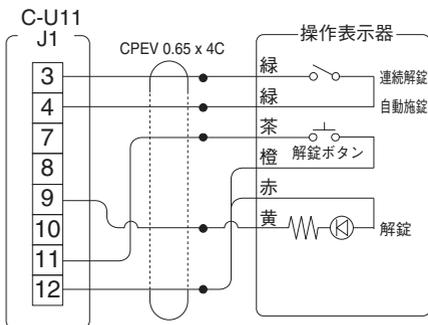


④ 面付型B-9511F/卓上型B-9511S

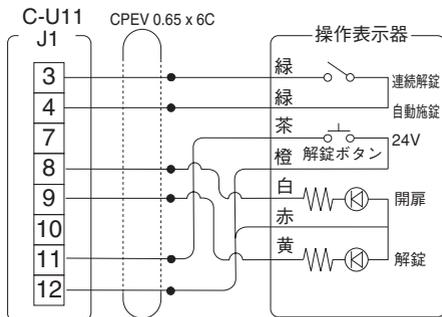


● 操作表示器接続図

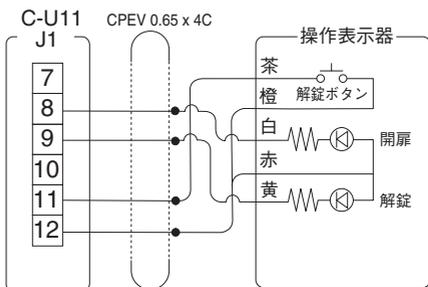
⑤ 面付型B-9511FA/卓上型B-9511SA



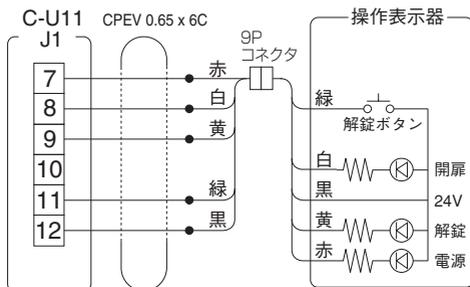
⑦ 面付型B-9512FA/卓上型B-9512SA



⑥ 面付型B-9512F/卓上型B-9512S

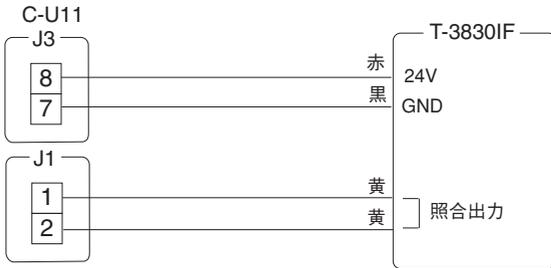


⑧ B-9612F

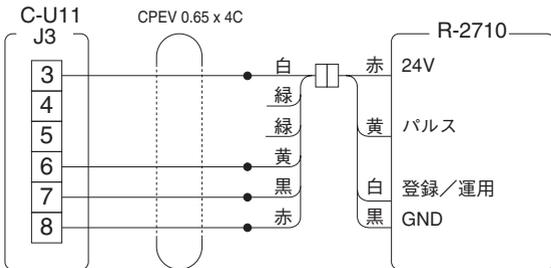


● 端末機器接続図

● T-3830IF接続図



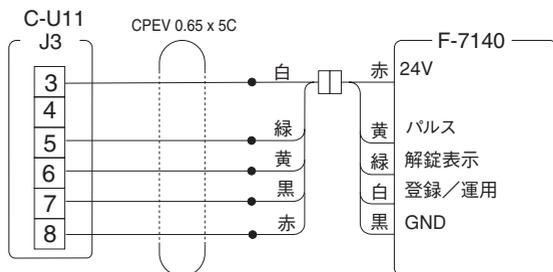
● R-2710接続図



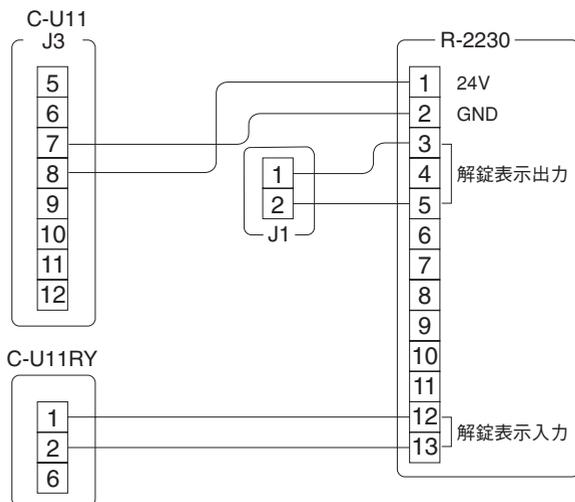
- はハンダ付けをして絶縁処理をおこなってください。
- 使用しない線は、絶縁処理をおこなってください。

● 端末機器接続図

● F-7140接続図



● R-2230接続図



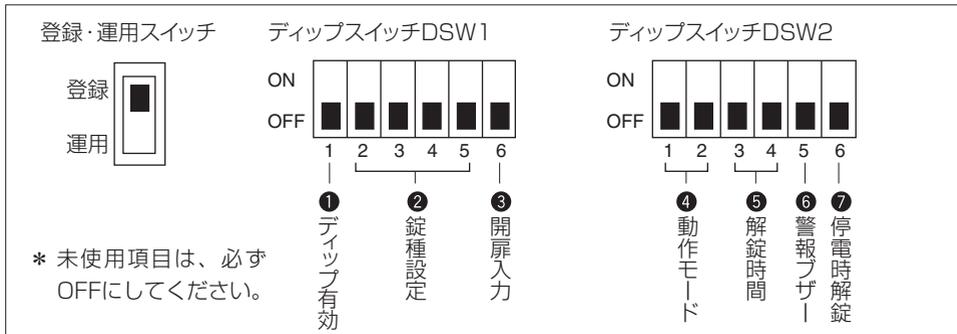
1. ● はハンダ付けをして絶縁処理をおこなってください。
2. 使用しない線は、絶縁処理をおこなってください。

4 設定

実際にお使いになる前に、各機器(テンキー、カードリーダ、コントローラなど)の設定が必要です。下記の手順にしたがって設定をおこなってください。

●コントローラのディップスイッチ設定

コントローラのディップスイッチで各種の設定を行います。スイッチの操作には、先の細いものをご使用ください。ディップスイッチを操作する場合は、本体および非常電源装置の電源をOFFにした状態で行ってください。



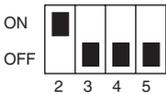
① ディップ有効
必ずONにして使用します。

ディップ有効

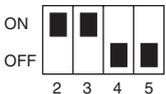


② 錠種設定
接続する電気錠の種類に合わせて設定します。

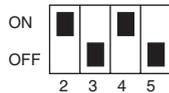
(1) 通電時解錠型電気錠



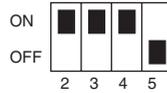
(2) 通電時解錠型電気ストライク



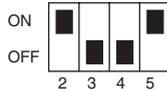
(3) 通電時施錠型電気錠



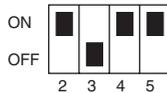
(4) 通電時施錠型電気ストライク



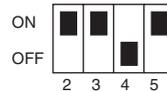
(5) モーター錠



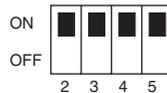
(6) 瞬時通電施解錠型電気錠



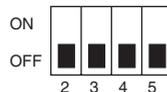
(7) 通電時解錠型電気錠(ALX)



(8) 通電時解錠型電気ストライク(ASZ)



(9) 自動扉



③ 錠開扉入力

扉の状態によって入力する信号の接点をいずれかに設定します。

閉扉時メーク



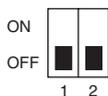
閉扉時ブレーク



④ 動作モード

A,B,E の3つの動作モードのいずれかに設定します。(自動扉接続時は、Aモードのみ)

(1) A: 自動施錠モード



(2) B: 施錠錠繰り返しモード



(3) E: 手動/自動施錠モード



⑤ 解錠時間

一回解錠時の解錠時間を設定します。

(自動扉接続時は、信号の出力時間)

(1) 5秒*



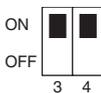
(2) 10秒



(3) 20秒



(4) 30秒



*自動扉接続時は1秒

⑥ 警報ブザー

異常時に警報ブザーを鳴らすための設定です。

ブザー音無し



ブザー音有り



⑦ 停電時解錠(非常電源C-P11取付時)

停電時解錠を行うための設定です。

停電解錠無し



停電解錠有り



■ 運用登録スイッチ

各種端末の登録設定を行うときに使用します。

(1)登録時

端末の暗証番号などを登録するとき、この位置に設定します。



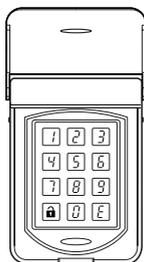
(2)運用時

通常運用時は、この位置に設定します。



● 端末機器登録

● T-3830デジタルテンキーを使用する場合



T-3830デジタルテンキーを使用する場合は、T-3830IFユニットが必要です。ユニットの取り付け方法は、T-3830IF 取扱説明書をご覧ください。

■登録

手順

- ① C-U11の電源がOFFの状態で、T-3830IFユニットのロータリースイッチで暗証番号を設定する



- ② C-U11の電源を入れる
T-3830に暗証番号が設定されます。

■変更

手順

- ① C-U11の電源がOFFの状態で、T-3830IFユニットのロータリースイッチで暗証番号を設定する



- ② C-U11の電源を入れる
T-3830の暗証番号が変更されます。

■解錠方法

手順

- ① 「登録」の手順で暗証番号を設定をしてC-U11の電源を入れる

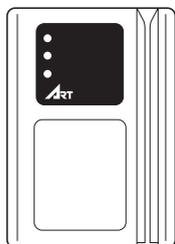


- ② T-3830のタッチキーを押す
テンキーが表示されます。



- ③ 暗証番号を入力する
解錠されます。

●R-2710磁気カードリーダーを使用する場合



カードリーダー側でカードを使用して、操作します。
カードは10種類まで登録可能です。カードリーダー内のディップスイッチの設定は、カードリーダー取扱説明書を参照してください。

手順

- ① C-U11の運用登録スイッチ
をON(登録)に切り換える



- ② 登録するカードをスライドさせ、カードリーダーで読み取る

*読み取りが完了すると“ピー”という音がします。



- ③ C-U11の運用登録スイッチ
をOFF(運用)に切り換える

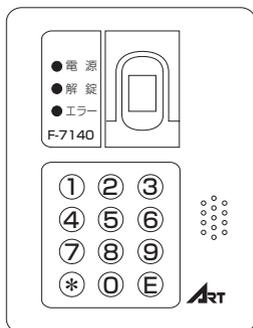


カードの登録変更

- ・カードを紛失した場合など、登録を抹消したいときは、そのグループに対応するディップスイッチをOFF にしてください。
- ・新規登録の場合、新しい管理カードを発行して登録をおこなってください。

● 端末機器登録

● F-7140指紋照合リーダを使用する場合



テンキー側のキーボタンで操作します。

指紋は、一指モードで1,000件、二指モードで500件まで登録可能です。

指紋照合リーダ内のディップスイッチの設定は、指紋照合リーダ取扱説明書を参照してください。

■ オールクリア

初めて使用する場合や、ディップスイッチを変更した場合は必ずオールクリアを行ってください。オールクリア操作を行うと登録されているデータはすべて削除されます。

手順

- ① C-U11の電源をOFFにして、運用登録スイッチをON(登録)に切り換える



- ② F-7140のディップスイッチで一指、二指、個人コード桁数を設定し、ディップスイッチ1をONにする

- ③ C-U11の電源をONにする

このとき、F-7140の解錠LED、エラーLEDが赤で点灯します。



- ④ F-7140のテンキーで登録用パスワード(出荷時0000E)と入力する

このとき、F-7140の解錠LED、エラーLEDが交互に赤で点滅します。データクリアが終了すると“ピッピー”と音がし、解錠LED、エラーLEDが赤で点灯します。



- ⑤ F-7140のディップスイッチ1をOFFにして、再度電源を入れ直す

■登録

手順

- ① C-U11の運用登録スイッチをON(登録)に切り換える



このとき、F-7140の解錠LED、エラーLEDが橙で点滅します。



- ② F-7140のテンキーで* Eと入力する

このときF-7140の解錠LEDが2秒間、緑に点灯し、“ピッピ”と音がした後、橙の点灯に変わります。



- ③ F-7140のテンキーで* 1 Eと入力する

このときF-7140の解錠LEDが橙で点灯し、エラーLEDが緑で点灯します。



- ④ F-7140のテンキーで個人コードを入力し、最後にEを入力する



- ⑤ F-7140の指紋読込部に指を置き、Eキーを押す

このとき、“ピーピピッ” “ピーピピッ”と音がします。音が止まってから指を離してください。



- ⑥ “ピピッ” “ピピッ”と音がしたら、再度指を置く



- ⑦ 解錠LEDが2秒間、緑に点灯し、“ピッピ”と音がする

この操作で登録終了です。

二指モードのときは二本目の指を置いて、手順5~6を繰り返してください。

■照合

手順

- ① 個人コードを入力し、最後にEキーを押す



- ② F-7140の指紋読込部に指を置く



- ③ 解錠LEDが2秒間、緑に点灯し、“ピッピ”と音がする



- ④ 電気錠が解錠する

注意事項

手順3で照合エラーとなった場合は、Eキーを押して指を置いてください。3回までリトライ可能です。リトライ中は個人コードは受け付けませんので、解錠LEDが消えてから入力してください。

● 端末機器登録

■ 抹消

手順

- ① C-U11の運用登録スイッチをON（登録）に切り換える



このとき、F-7140の解錠LED、エラーLEDが橙で点滅します。



- ② F-7140のテンキーで* Eと入力する

このときF-7140の解錠LEDが2秒間、緑に点灯し、“ピッピー”と音がした後、橙で点灯します。



- ③ F-7140のテンキーで* 2Eと入力する

このときF-7140の解錠LEDが橙で点灯し、エラーLEDが赤で点灯します。



- ④ F-7140のテンキーで個人コードを入力し、最後にEを入力する



- ⑤ 再度F-7140のテンキーで個人コードを入力し、最後にEを入力する



- ⑥ 解錠LEDが橙、エラーLEDが赤で点滅します。（場合によっては数十秒点滅が続くことがあります）

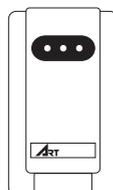


- ⑦ 解錠LEDが2秒間、緑に点灯し、“ピッピー”と音がする



- ⑧ 解錠LEDが橙、エラーLEDが赤で点灯します。この操作で抹消終了です。

● R-2230セキュリティーカードリーダーを使用する場合



カードリーダー側でカードを使用して、操作します。カードリーダー内のディップスイッチの設定は、カードリーダー取扱説明書を参照してください。

■ アドレスの選択

登録カードを操作することによって、1～20までの20のアドレスが選択できます。

カードスイッチ	警備表示灯	ループ表示灯	予備表示灯
カードロック	電源表示灯	照合表示灯	解錠表示灯
アドレス1	消灯	消灯	緑
アドレス2	消灯	緑	消灯
アドレス3	消灯	緑	緑
アドレス4	緑	消灯	消灯
アドレス5	緑	消灯	緑
アドレス6	緑	緑	消灯
アドレス7	緑	緑	緑
アドレス8	消灯	消灯	赤
アドレス9	消灯	赤	消灯
アドレス10	消灯	赤	赤
アドレス11	赤	消灯	消灯
アドレス12	赤	消灯	赤
アドレス13	赤	赤	消灯
アドレス14	赤	赤	赤
アドレス15	消灯	消灯	橙
アドレス16	消灯	橙	消灯
アドレス17	消灯	橙	橙
アドレス18	橙	消灯	消灯
アドレス19	橙	消灯	橙
アドレス20	橙	橙	消灯

■登録

手順

①登録カードを操作する

このとき表示灯が点灯し、アドレス1に登録可能な状態になります。



②運用カードを操作する

“ピー”と音がして、アドレス1に運用カードが登録されます。

カード登録後、アドレス2に表示が変わります。以後、カードを登録することによってアドレスが変わります。

注意事項

すでに登録されているアドレスにカード登録を行うと、データが上書きされます。アドレス1～4にカードが登録済みで、アドレス5に登録したい場合は登録カードを5回操作し、アドレス5を表示させて、運用カードを操作してください。

■抹消

手順

①登録カードを操作して、抹消するアドレスを表示する



②抹消カードを操作する

“ピー”と音がして、表示したアドレスのデータが抹消されます。

■全抹消

手順

①リーダの電源をOFFにする



②リーダのディップスイッチ8をONにする



③リーダの電源をONにする

“ピッ”と音がして、全抹消の動作が始まります。“ピッピー”と音がすると、全抹消が終了です。



④リーダのディップスイッチ8をOFFにする



リーダの電源をOFFにして、再度電源をONにすると運用モードになります。

■照合

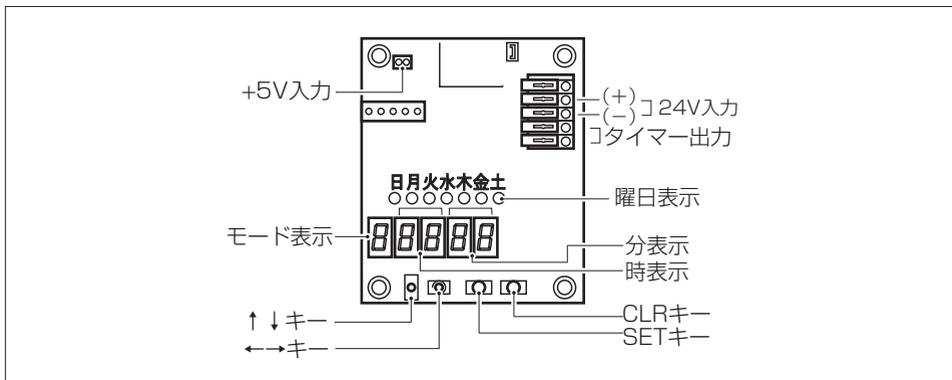
①運用カードを操作する

照合OKの場合、照合表示灯（緑）が2秒間点灯し、“ピッピー”と音がします。

●タイマー設定

タイマーユニット側のボタンで操作します。

C-U11の電源スイッチが、ONになっていることを確かめてから設定を行ってください。

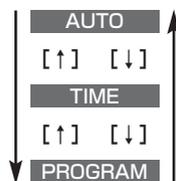


■モードの切り換え

タイマーのモードには以下の3種類があります。

モード	表示	機能
AUTO	A	通常表示です。現在時刻を表示します。
TIME	t	時刻と曜日を設定します。
PROGRAM	P	曜日ごとに解錠／施錠の時刻を設定します。

モードの切り換えは[↑][↓]キーを押して行います。



■現在の時刻と曜日の設定

時刻設定と曜日を設定します。

手順

- ① [↑][↓]キーを押して「t」を表示する

「t」表示が点滅します。



- ② [SET]キーを3秒以上押して[TIME]モードに入る

「分」表示が点滅します。



- ③ [←][→]キーを押して「時間」、「曜日」を選択する
点滅表示している桁が選択された桁です。



- ④ [↑][↓]キーを押して「時間」を設定する

[↑][↓]キーで時間の増減、または曜日の移動をします。

- ⑤ 手順③～手順④を繰り返して、「分」、「曜日」を設定する



- ⑥ [SET]キーを押す

時間、分、曜日の設定が確定し、LEDのドットが点滅します。



- ⑦ [CLR]キーを押して[TIME]モードを抜ける

時刻と曜日の設定が完了しました。

通常表示に戻ります。

■解錠/施錠時刻の設定

曜日ごとの解錠/施錠の時間を3つまで設定できます。(7曜日×3種時間帯、最大21種時間帯)

手順

- ① [↑][↓]キーを押して“P”を表示する

“P”表示が点滅します。



- ② [SET]キーを3秒以上押して[PROGRAM]モードに入る

“5”と“i”が交互に表示され、解錠時間(S1)の設定モードになります。



- ③ [←][→]キーを押して曜日を選択する

曜日ランプの表示が1桁ずつ移動します。



- ④ [SET]キーを押して曜日を確定する

曜日の設定が確定します。
次に解錠時間を設定します。



- ⑤ [←][→]キーを押して時間と分の桁を選択する

点滅表示している桁が選択された桁です。



- ⑥ [↑][↓]キーを押して「時間」と「分」を設定する

[↑][↓]キーで数値が増減します。



- ⑦ [SET]キーを押して解錠時間を確定する

解錠時間(S1)が確定します。



- ⑧ [↑]キーを押す

“E”と“i”が交互に表示され、施錠時間(E1)の設定モードになります。



- ⑨ [←][→]キーを押して曜日を選択する

曜日ランプの表示が1桁ずつ移動します。



- ⑩ [SET]キーを押して曜日を確定する

曜日の設定が確定します。
次に施錠時間を設定します。



- ⑪ [←][→]キーを押して時間と分の桁を選択する

点滅表示している桁が選択された桁です。



- ⑫ [↑][↓]キーを押して「時間」と「分」を設定する

[↑][↓]キーで数値が増減します。



- ⑬ [SET]キーを押して施錠時間を確定する

施錠時間(E1)が確定します。



- ⑭ [↑][↓]キーを押す

“5”と“z”が交互に表示され、解錠時間(S2)の設定モードになります。



- ⑮ 手順②から手順⑬を繰り返して、「S2-E2」、「S3-E3」の解錠/施錠時間を設定する。



- ⑯ [CLR]キーを押して[PROGRAM]モードを抜ける

解錠/施錠の設定が完了しました。通常表示に戻ります。

●タイマー設定

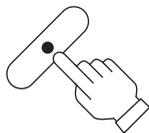
■設定の確認

手順

- ① [↑][↓]キーを押して“P”を表示する
“P”表示が点滅します。
↓
- ② [SET]キーを3秒以上押して[PROGRAM]
モードに入る
↓
- ③ [←][→]キーで日～土曜日を移動し、[↑][↓]
キーでS1～3Eを移動する
各曜日、時刻を確認します。
↓
- ④ [CLR]キーを押して[PROGRAM]モードを
抜ける
通常表示に戻ります。

5 操作

● 解錠操作



一回解錠ボタンを押す



Aモード(自動施錠モード)

設定した時間(5~30秒)だけ解錠
解錠ランプが点滅



自動的に施錠

・ 設定した時間以内に扉の開閉を行うと、扉を閉めた時点で施錠します。30秒以上、扉が開いていると警報ブザーが鳴ります。



Bモード(施解錠繰り返しモード)

連続解錠
解錠ランプが点灯



一回解錠ボタンを押して、施錠

・ 扉が開いている状態で一回解錠ボタンを押しても、施錠されません。必ず扉を閉めてから一回解錠ボタンを押してください。



Eモード(手動/自動施錠モード)

設定した時間(5~30秒)だけ解錠
解錠ランプが点滅

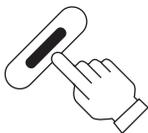


自動的に施錠

・ 設定した時間以内に扉の開閉を行うと、扉を閉めた時点で施錠します。30秒以上、扉が開いていると警報ブザーが鳴ります。
・ 手動(キーまたはサムターン)で解錠した場合は、扉を閉めても施錠しません。解錠ボタンを押して、施錠してください。

* インターホン、JEM-A、各種端末からの操作で、一回解錠の操作を行うことができます。

●連続解錠操作



連続解錠ボタンを押す



Aモード(自動施錠モード)

Bモード(施解錠繰り返しモード)

Eモード(手動/自動施錠モード)

連続解錠
解錠ランプが点灯

Bモード時は、無効です。

連続解錠
解錠ランプが点灯



連続解錠(施錠)ボタンを押して施錠

・扉が開いている状態で連続解錠(施錠)ボタンを押しても、施錠されません。必ず扉を閉めてから連続解錠(施錠)ボタンを押してください。

連続解錠(施錠)ボタンを押して施錠

・扉が開いている状態で連続解錠(施錠)ボタンを押しても、施錠されません。必ず扉を閉めてから連続解錠(施錠)ボタンを押してください。

● 警報

電気錠または扉に異常が発生した場合、警報ランプまたは、ブザーにより、異常を知らせます。

警報の種類

開扉警報:

30秒以上扉が開いていた場合、警報ランプが点灯しブザーが30秒間鳴ります。扉を閉めたとき、または解錠ボタンを押したとき、警報ランプが消灯します。

解錠不良警報:

解錠ボタン、連続解錠ボタンを押しても解錠しない場合、警報ランプが点灯しブザーが30秒間鳴ります。解錠されると警報ランプが消灯します。

施錠不良警報:

自動施錠モード時に施錠しない場合、また、施錠ボタンを押しても施錠しない場合、警報ランプが点灯しブザーが30秒間鳴ります。施錠されると警報ランプが消灯します。

解錠入力不良警報:

解錠ボタン、連続解錠ボタンおよび外部解錠入力ランプが30秒以上ONになっていると警報ランプが点灯しブザーが30秒間鳴ります。OFFにして解錠ボタンを押すと警報ランプが消灯します。

こじあけ警報:

施錠状態で扉が開いた場合、警報ランプが点灯しブザーが30秒間鳴ります。解錠ボタン、連続解錠ボタンを押して解錠すると警報ランプが消灯します。

6 動作確認

順序	操作	チェックポイント
1	C-U11コントローラの一回解錠ボタンを押します。	<ul style="list-style-type: none">・各表示LEDが正しく表示しているか・電気錠が解錠するか・扉を閉めると施錠するか・その他仕様どおりに動作するか
2	C-U11コントローラの連続解錠ボタンを押します。	<ul style="list-style-type: none">・各表示LEDが正しく表示しているか・電気錠が解錠するか・扉を閉めても解錠を保持するか・その他仕様どおりに動作するか
3	外部接続機器を操作します。 (操作表示器、テンキー、カードリーダー等)	<ul style="list-style-type: none">・各表示LEDが正しく表示しているか・電気錠が解錠するか・その他仕様どおりに動作するか

7 トラブル発生時のチェックポイント

●故障かな…と思ったら

機器の調子が悪いときや、故障かなと思ったときには下記のチェックポイントをご覧ください。それでも改善されないときは、裏表紙に記載されている最寄りの各地営業所、出張所へお問い合わせください。

その際、下記の事項をお知らせください。

型式: C-U11

故障状況: できるだけ詳細に

購入年月日

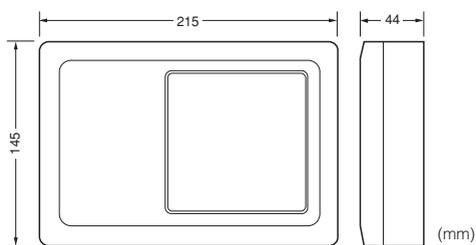
現象	原因	対策
●電源スイッチをONにしても電源ランプが点灯しない	・ ACコードが正しく接続されていない ・ 本体とカバー表示部の接続コネクタが外れている	・ 接続を確認する
●解錠ボタンを押しても解錠しない	・ 電気錠が正しく接続されていない ・ ディップスイッチの設定が間違っている	・ 接続を確認する ・ 設定を確認する
●C-U11の警報ブザーが止まらない	・ 電気錠が正しく動作していない ・ 扉と枠の隙間が大きい	・ 電気錠の取り付けを調整する ・ 扉の調整をする
●テンキーで解錠しない	・ 正しく暗証番号が登録されていない	・ 再登録する
●カードリーダーで解錠しない	・ 正しくカードが登録されていない	・ 再登録する

8仕様

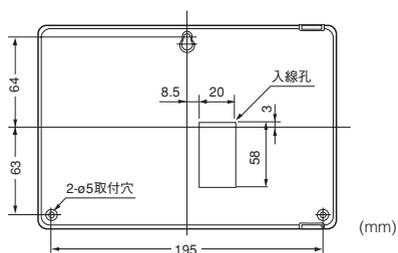
●仕様

品名	コントローラ
型式	C-U11
回線数	1回線
外形寸法	215(幅)×145(高さ)×44(奥行)mm
材質、色	ABS樹脂製 マンセル N-8.0 半ツヤ消し
制御方式	CPU制御
表示灯	電源(緑)、警報(赤)、開扉(赤)、解錠(緑)
電源	AC100V 50/60Hz 15VA
使用温度	0°C~+40°C
重量	約0.4kg

●外形寸法図



●取付寸法図



*仕様および外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

●オプション

●タイマーユニット C-U11TM

- ・設定した時間に電気錠を連続解錠できます。解錠時間帯を1日に3種類まで設定できます。

●リレーユニット C-U11RY

解錠、開扉、警報の3種類の信号を出力します。

- ・**解錠出力** (無電圧C接点 接点容量 DC24V 0.3A以下)
電気錠が解錠時、解錠信号を出力します。
- ・**開扉出力** (無電圧C接点 接点容量 DC24V 0.3A以下)
扉が開いているとき、開扉信号を出力します。
- ・**警報出力** (無電圧C接点 接点容量 DC24V 0.3A以下)
電気錠、扉に異常があったときに警報信号を出力します。

●非常電源 C-P11

- ・停電時解錠有りの設定の場合、停電時、電気錠の解錠を自動的に行う設定が可能です。また、停電時解錠無しの設定の場合、停電時、30分間に1回の施解錠ができます。

錠種	停電時解錠有りの設定	停電時解錠無しの設定
通電時解錠型	○	施錠状態
通電時施錠型	○	解錠状態
瞬時通電施解錠型	○	停電時の状態保持
モーター式	○	停電時の状態保持

- ・停電時解錠は、連続解錠動作です。

●操作表示器 B-9615F

自動施錠型と施解錠繰り返し型の2種類があり、C-U11コントローラと同様の施解錠操作および状態表示の確認ができます。

●ダブルロックユニット

2台の電気錠AL3Mを接続できます。

保守契約・サービスについて

この度は、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。当社では、安定した状態で、本機をお使いいただくために保守契約を行い、お客様に定期的な保守サービスを提供しております。また、万一故障した場合の緊急時のお呼び出し等に対してもスポット対応を行っております。保守契約・緊急時のスポット対応についてのお問い合わせは、最寄りの各地営業所・出張所へお問い合わせください。



本社営業部 ☎141-0022 東京都品川区東五反田1-25-11(五反田-丁目イーストビル) ☎(03)3447-6601(代) FAX.(03)3447-6659
大阪支店 ☎550-0004 大阪市西区靱本町1-7-22(JPCビル) ☎(06)6459-6601(代) FAX.(06)6443-6616
名古屋支店 ☎462-0823 名古屋市北区大曾根3-15-58(明治安田生命大曾根ビル) ☎(052)913-6601(代) FAX.(052)913-6602
札幌出張所 ☎001-0010 札幌市北区北10条西4-1-19(楠本第10ビル) ☎(011)757-6701(代) FAX.(011)757-6703
広島出張所 ☎732-0052 広島市東区光町2-7-35(光町Uビル) ☎(082)261-1122(代) FAX.(082)261-1322
福岡出張所 ☎812-0013 福岡市博多区博多駅東2-13-26(九州八重洲ビル) ☎(092)472-3160(代) FAX.(092)451-8056

URL:<http://www.art-japan.co.jp> E-mail:hinsyo@art-japan.co.jp